

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2011～2012年度 国際ロータリー Kalyan Banerjee (カルヤン・バナルジー) 会長テーマ

Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦世志朗
幹事 市川裕大
会報委員長 吉岡秀記

第2741回例会プログラム

[当年度=17回目；当月=1週目]

2011年（平成23年）12月5日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 副会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(12/12) ……クラブ総会
次年度理事役員選出
(12/19) ……クリスマス家族会
(親睦活動委員会)
18:00～
名古屋マリオットアソシアホテル16F
「アゼリア」
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「again であい ふたたび」
講師 西居院住職 廣中 邦充 様
(紹介者 横山 宜幸 会員)
16. 謝辞
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言
13:30 19. 散会

出席

会員総数 91名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 10名 出席率 88.24%
前々回 (11/14) の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 12月1日西三河分区の第2回、会長・幹事会が開催され、会長と共に出席してまいりました。
- 2) 2月19日安城で開催されますIMの出欠確認依頼がありました。理事・役員・委員長・地区出向者及び入会3年未満の会員の方はぜひご出席下さい。
- 3) 本日例会終了後、第2回次期理事役員候補者指名委員会を特別会議室にて開催致します。関係の方はよろしくご出席下さい。

副会長あいさつ

岩瀬 正人



本日は、杉浦会長が例会をお休みのため、私が代理を務めますので、よろしく願います。

本日は12月5日、「師走」の月。「睦月」・「如月」…と続く日本古来の月の呼び方を和風月名（ワフウゲツメイ）と言うが、「師走」には、

他の月にはない特徴がある。

それは、「師走」という言葉が、現代でも最も違和感なく使われている和風月名の言葉ということ。

何故、そうなのかということについて紹介したい。

和風月名の呼び方は旧暦の季節の事象・年中行事に合わせた呼び名であるため、通常、現在の新暦とは1-2ヶ月のズレがある。

例えば、10月の呼び名である「神無月」は、出雲大社に全国の神が集まるため、出雲以外には神がいなくなることが語源と言われる。

出雲では出雲大社ほか、いくつかの神社で「神在月」

の神事が行われるが、それは新暦ではなく旧暦10月に行われる。

また、「霜月」は11月の名前だが、北国を除くと霜が降る月は、新暦では12月ごろの風景と言える。

このように、和風月名は、新暦の月に当てはめるより、旧暦に合わせて使う方が当てはまる。

ところが、「師走」だけは例外で、新暦の12月に入ると、師走、師走とあちこちで聞かれるようになり、そのまま新暦に適用しても違和感がない。

師走の語源には諸説あるが、有力な1つの説として、師匠の僧がお経をあげるため、東西に馳せる月（馳せ参ずる）と解釈する「師馳す月」というものがある。

この他にも様々な語源があるようだが、みな「年の終わり」を意味している。

まとめると、和風月名の多くが自然の変化や農作業に関連した名称のため、それが使われていた旧暦時代と新暦での暦月のズレが発生する。これに対して、師走に限っては、年の終わりという人間の社会生活に重点を置いた言葉のため、両者のズレがないということだそうです。

このように師走は1年の中でも特別な月といえる。師走の月を迎えると、ああ1年が終わるなという思いが出てくるが、今日から残り26日間、毎日を悔いのない日々を送っていききたいものです。

お 祝 い

12月の会員の誕生日…八木道之、杉山欣輝、杉浦世志朗、酒部正博、加藤繁則、木村和司会員。

配偶者の誕生日…鈴木裕子（孝平）、盛田俊子（豊一）、権田偉登子（銀弘）、鈴木千春（豊）、吉原梅世（孝彦）様。

結婚記念日…小林祥浩、大竹憲治、岡邦彦、久米博明会員。

12月度入会記念日…池田憲司、内藤耕造、竹内一郎、久米博明、小川耕示、角谷広高、霜出俱弘、深谷嘉英、白坂修二会員。

卓 話

「again であい ふたたび」

西居院住職 廣中 邦充 様



最近では、「失礼します。」「先程はありがとうございます。」という呼応が、今の家族や企業、地域の中であいさつが少なくなっているような気がします。

私と妻は、中学校からの付き合いで、結婚37日目になりますが、毎日「おかあさんおはよう、おかあさんありがとう」と欠かさず言っています。これは、「僕の妻で、いてくれてありがとう」という気持ちを込めています。

その「ありがとう」は、常に「温もり・勇気」を与えてくれています。その「ありがとう」を聞くと「嬉しいな～」と感じるのが日本の文化であると思っています。

そして、この文化を伝えるために、私は毎月「ありがとうの日」を作りたいと思って色々な機会をとらえて提言させて頂いています。

我が院は17年目になり843名が卒業しました。現在は17名の大人や子供が生活をしています。また、この寺に入りたい人が2761名おり順番待ちとなっています。刈谷市では29名となっています。

このように、たくさんの方が助けを求めていることから、この人たちをだれが救っていくのが大切な時代となっています。

このような状況を改善していくために皆さんに伝えたいことは、ビジネスでも子育てでも、今の現状を「人のせいにするな」ということと、その現状から「逃げるな!! + 前に足を踏み出す勇気」が必要だと言うことです。

この気持ちを持って「ありがとう」の言葉を発していくことにより「職場の温もり」を生むことができ、その結果、色々な出会いが生まれます。このためにも、毎月「ありがとうの日」を作って頂き、絆から信頼を得てください。

最後に、挨拶は部下から上司ではなく、上司から挨拶することが大切です。また、名前を呼ばれたら必ず「はい」と返事をしましょう。

住職紹介

廣中ご住職ご自身も、ケンカに明け暮れる高校生活を送っていた。

そんな廣中ご住職を救ってくれたのは、1人の若い男性教師でした。

真剣に向き合ってくれた先生の姿…大学卒業後は、学習塾などを経営、その後、最愛の父が倒れ、平成元年に寺を継ぐ。

長男の通う高校のPTA会長を勤めた頃、退学者のあまりの多さを目の当たりにし、そこで、「お寺に來い」と声を掛けたのが、子どもを引き取るきっかけとなる。

子どもに向き合う姿勢は真剣で、叱るときは徹底的に怒鳴りつける。その後、精一杯の愛情を注ぎ、体を張って子どもたちを守る。

「1人で苦しむなよ。みんなここに來い」と、豪快な笑顔で子どもたちに呼び掛ける廣中ご住職のもとには、連日のように相談がよせられる。

廣中ご住職が全精力を込めて取り組んでいるのが、心身ともに傷ついた子供たちの『いのち』を守る活動である。

無償で若者たちをお寺にて預かり、まるで本当の父親のように、全身全霊、体当たりの愛情で子どもたちに接している廣中ご住職を、子どもたちは「おじさん」と呼び慕っている。

様々な事情を抱え、心に傷を持ち、お寺にやって来た子どもたちは、ご住職の愛情で、心を癒され、やがてお寺を卒業し社会へ旅立っていきます。

これまでにお寺を巣立っていった子どもたちは、843人以上…

現在もお寺には17人が暮らしている。

廣中ご住職は、「命ある限り、子どもの心とからだの居場所をつくり、子どもたちの後ろ盾になりたい」という熱い思いで、活動が続けている。